

# 2022年度 エコアクション21 環境経営レポート

【期間：2022年4月～2023年3月】



2023年10月オープン予定寝屋川店完成予想図



MAZDA CX-60 DEBUT



株式会社 関西マツダ  
発行日 2023年5月20日

1

《目次》

2

《組織の概要》

3

《実施体制》

4

《店舗一覧表》

5

《環境経営方針》

6~7

《環境経営目標》

8~9

《環境経営計画》

10~19

《環境活動計画の取組結果と評価》

20

《環境関連法規等のとりまとめ》

21

《代表者による全体評価と見直しの結果》



# 株関西マツダ 組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名  
株式会社関西マツダ  
代表取締役 平 正憲

2. 所在地  
大阪府大阪市浪速区桜川1丁目3番25号

3. 事業内容  
新車販売  
中古車販売  
自動車の整備  
自動車賃貸業(レンタカー事業)  
各種自動車部品及び用品販売  
自動車保険等の損害保険代理店業務、生命保険の募集に関する業務



4. 事業規模

- ① 店舗数 大阪府下45店舗(中古車・BPセンター含む) (2023年3月1日現在)
- ② 従業員数 986名 (2023年3月1日現在)
- ③ 年間売上高 337億5255万円 (2023年3月期実績)
- ④ 年間新車売上台数 8,049台 (2023年3月期実績)
- ⑤ 年間サービス売上高 58億2240万円 (2023年3月期実績)
- ⑥ 認証登録店舗(2023年3月現在)45店舗
- ⑦ 対象店舗 ※下記

5. 対象組織 全組織とする(※2023年3月1日現在以下45店舗)

	本社
--	----

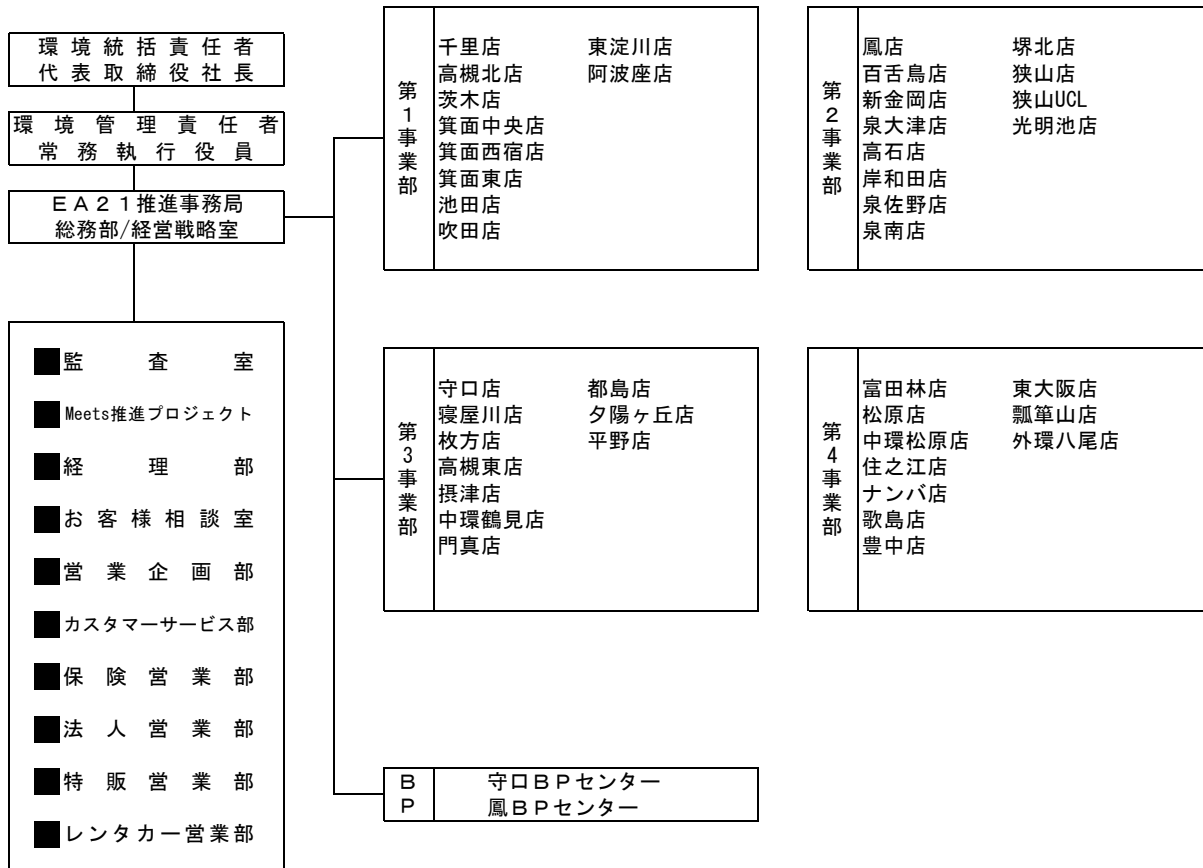
第1事業部	千里店
	高槻北店
	茨木店
	箕面中央店
	箕面西宿店
	箕面東店
	池田店
	吹田店
	東淀川店
	阿波座店

第2事業部	鳳店
	百舌鳥店
	新金岡店
	泉大津店
	高石店
	岸和田店
	泉佐野店
	泉南店
	堺北店
	狭山店
	狭山UCL
	光明池店

第3事業部	守口店
	寝屋川店
	枚方店
	高槻東店
	摂津店
	中環鶴見店
	門真店
	都島店
	夕陽ヶ丘店
	平野店

第4事業部	富田林店
	松原店
	中環松原店
	住之江店
	ナンバ店
	歌島店
	豊中店
	東大阪店
	瓢箪山店
	外環八尾店

B	守口BP
P	鳳BP



<役割>

環境統括責任者	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 ・EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認	
環境管理責任者	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する ※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動レポートの確認	
EA21推進事務局	総務部 経営戦略室	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全体的な環境取組を推進する ・店舗の環境取り組みの指導・支援 ・環境データの集計・取りまとめ
	監査室 カスタマーサービス部	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として特にサービス工場領域に関する環境取組を推進する
	3F・4F担当者	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として特に本社領域に関する環境取組を推進する
店舗環境管理責任者 正：店長 副：サービスMgr	店舗での環境取組を推進する ・店長は店舗の環境取り組み全体の責任者として、推進・管理を行う ・サービスマネージャーはサービス工場領域の責任者となり店長をサポートする	

# 株関西マツダ 店舗一覧表

(2023年3月現在)

	店舗名	中古車併設	〒	住所	電話	FAX
本社	EA21環境推進事務局		556-0022	大阪市 浪速区 桜川 1-3-25	06-6568-8000	06-6561-8019
第1事業部	千里店	○	565-0874	吹田市 古江台 6-1-3	06-6871-1021	06-6871-1026
	高槻北店	○	569-1135	高槻市 今城町 16-5	072-683-0101	072-683-0105
	茨木店	○	567-0041	茨木市 下穂積 1-8-10	072-622-6741	072-622-6744
	箕面中央店	○	562-0004	箕面市 牧落 5-5-18	072-722-0843	072-722-0991
	箕面西宿店		562-0034	箕面市 西宿 1-5-14	072-729-1135	072-729-2879
	箕面東店	○	562-0004	箕面市 牧落 3-19-30	072-723-8988	072-723-8990
	池田店		563-0025	池田市 城南 3-6-4	072-752-0521	072-752-0524
	吹田店		564-0041	吹田市 泉町 3-19-12	06-6338-1561	06-6338-1639
	東淀川店	○	533-0013	大阪市 東淀川区 豊里 7-32-5	06-6326-6371	06-6326-6387
	阿波座店		550-0006	大阪市 西区 江之子島 1-9-15	06-6443-8171	06-6443-6134
第2事業部	鳳店	○	593-8328	堺市 西区 鳳北町 9-44	072-262-1441	072-262-1444
	百舌鳥店		591-8033	堺市 北区 百舌鳥西之町 3-517	072-258-1251	072-258-1253
	新金岡店		591-8025	堺市 北区 長曾根町 3001-1	072-259-5001	072-259-5934
	泉大津店	※サービス工場のみ	595-0031	泉大津市 我孫子 117-1	0725-21-3181	0725-21-3185
	高石店	○	592-0012	高石市 西取石 5-2-30	072-262-0120	072-262-0229
	岸和田店	○	596-0823	岸和田市 下松町 1-1-6	072-439-5621	072-439-5624
	泉佐野店	○	598-0033	泉佐野市 南中安松 1430	072-466-0451	072-466-0588
	泉南店		599-0203	阪南市 黒田 328-1	072-473-3288	072-473-3291
	堺北店	○	590-0985	堺市 堺区 戎島町 4-31	072-238-5571	072-238-5598
	狭山店		589-0013	大阪狭山市 茱萸木6-1049-1	072-367-1851	072-367-1856
	狭山UCL	※中古車専売店	589-0013	大阪狭山市 東茱萸木4-1343-1	072-368-1562	072-368-1563
	光明池店	○	594-0031	和泉市 伏屋町 4-10-25	0725-50-5566	0725-50-4141
第3事業部	守口店	○	570-0021	守口市 八雲東町 2-78-33	06-6909-1152	06-6909-6663
	寝屋川店	○	572-0028	寝屋川市 日新町 21-17	072-831-4521	072-831-4527
	枚方店	○	573-1162	枚方市 甲斐田新町 2-4	072-847-8621	072-847-8641
	高槻東店	○	569-0036	高槻市 辻子 3-8-1	072-672-1000	072-672-1005
	摂津店		566-0062	摂津市 鳥飼上 2-5-13	072-654-3601	072-654-3605
	中環鶴見店	○	538-0032	大阪市 鶴見区 安田 2-5-19	06-6912-0241	06-6912-0830
	門真店	○	571-0039	門真市 遠見町 14-31	06-6909-0456	06-6909-2292
	都島店		534-0011	大阪市 都島区 高倉町 2-8-1	06-6922-3871	06-6922-3875
	夕陽ヶ丘店		556-0001	大阪市 浪速区 下寺 1-6-5	06-6633-7831	06-6633-7835
	平野店		547-0035	大阪市 平野区 西脇 1-1-6	06-6702-7221	06-6702-3388
第4事業部	富田林店		584-0092	富田林市 昭和町 2-1748-7	0721-26-2432	0721-26-2890
	松原店		580-0045	松原市 三宅西 3-250-1	072-335-7551	072-335-2708
	中環松原店	※サービス工場のみ	580-0014	松原市 岡 6-3-27	072-334-1621	072-334-1626
	住之江店	○	559-0024	大阪市 住之江区 新北島 1-6-10	06-6685-8521	06-6685-8525
	ナンバ店		556-0022	大阪市 浪速区 桜川 1-3-25	06-6568-8031	06-6568-8047
	歌島店		555-0024	大阪市 西淀川区 野里 3-1-4	06-6473-1534	06-6473-1538
	豊中店	○	561-0836	豊中市 庄内宝町 2-7-10	06-6335-2020	06-6331-2100
	東大阪店	○	577-0016	東大阪市 長田西 4-4-28	06-6744-1651	06-6744-1656
	瓢箪山店	○	579-8066	東大阪市 下六万寺町 3-8-5	072-987-7365	072-987-7383
	外環八尾店	○	581-0034	八尾市 弓削町 南 2-135	072-949-0909	072-949-9501
B P	守口BPセンター		570-0021	守口市 八雲東町 2-78-33	06-6909-1288	06-6904-4811
	鳳BPセンター		593-8328	堺市 西区 鳳北町9-494	072-262-1664	072-266-0530

## 環境経営方針

### <基本理念>

株式会社関西マツダは、自動車販売・整備などの全ての事業活動において、全従業員一人一人が環境保全活動に取り組み、地球環境の保護と未来への豊かな社会づくりに貢献する事を誓います。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守致します。
2. 環境負荷の低減を図り、省資源・省エネルギーに努めます。  
そのため、電気・水道・ガソリン等の省エネルギー活動の推進を致します。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進致します。  
また、化学物質使用量の削減に向け塗料の水性化を拡大させます。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再生利用を推進致します。
5. 当社の事業活動の自動車販売・整備においてお客様に自動車の環境情報を積極的に提供し、スカイアクティブ車及びエコタイヤの拡販を推進し環境活動の推進に努めます。
6. 環境改善目標を定め、継続的かつ具体的な環境改善活動を実践致します。
7. 全従業員に、この環境方針を周知徹底するとともに、自社のホームページにも掲載し、社会に公表いたします。

令和 3年 7月 10日

株式会社関西マツダ  
代表取締役社長

平 正憲

# (株)関西マツダ 環境経営目標

## 1. 過去の環境負荷実績 ※全拠点

項目	単位	基準実績				
		2019年度実績 '19年4月～'20年3月	2020年度実績 '20年4月～'21年3月	2021年度実績 '21年4月～'22年3月	2022年度実績 '22年4月～'23年3月	
二酸化炭素排出量 ※1	kg-CO <sub>2</sub>	3,437,548	3,255,051	3,224,096	3,255,440	
電力使用量	kWh	4,907,320	4,573,476	4,651,761	4,722,323	
化石燃料	ガソリン使用量	L	191,257	213,195	189,154	181,712
	軽油使用量	L	73,116	56,796	48,884	60,928
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	62,188	56,183	57,406	55,209
	LPG使用量	m <sup>3</sup>	194	98	95	91
	灯油使用量	L	108	59	161	155
廃棄物	一般廃棄物	kg	102,569	91,910	97,021	95,545
	産業廃棄物	kg	565,123	526,205	484,988	466,399
水使用量	m <sup>3</sup>	36,242	33,709	32,751	32,162	
コピー用紙の使用量	kg	39,104	40,457	35,137	36,356	

※1 排出係数はオリックス…0.550 エネアーク関西… 0.489 (全て単位は、kg-CO<sub>2</sub>/kwh)を使用した。  
(排出係数は各社の2015年度実績、2016年12月27日公表数値)

## 2. 環境目標

項目	単位	2019年度実績 (目標となる基準)	目標			
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	3,437,548 (削減率)対2019年度比	3,368,797 △2%	3,334,422 △3%	3,300,046 △4%	3,265,671 △5%
電力使用量	kWh	4,907,320 (削減率)対2019年度比	4,809,174 △2%	4,760,100 △3%	4,711,027 △4%	4,661,954 △5%
化石燃料	ガソリン使用量	L (削減率)対2019年度比	187,432 △2%	185,519 △3%	183,607 △4%	181,694 △5%
	軽油使用量	L (削減率)対2019年度比	71,654 △2%	70,923 △3%	70,191 △4%	69,460 △5%
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup> (削減率)対2019年度比	60,944 △2%	60,322 △3%	59,700 △4%	59,079 △5%
	LPG使用量	m <sup>3</sup> (削減率)対2019年度比	190 △2%	188 △3%	186 △4%	184 △5%
	灯油使用量	L (削減率)対2019年度比	106 △2%	105 △3%	104 △4%	103 △5%
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg (削減率)対2019年度比	100,518 △2%	99,492 △3%	98,466 △4%	97,441 △5%
	産業廃棄物排出量	kg (削減率)対2019年度比	553,821 △2%	548,169 △3%	542,518 △4%	536,867 △5%
水使用量	m <sup>3</sup>	36,242 (削減率)対2019年度比	35,517 △2%	35,155 △3%	34,792 △4%	34,430 △5%
コピー用紙の使用量	kg	39,104 (削減率)対2019年度比	38,322 △2%	37,931 △3%	37,540 △4%	37,149 △5%

		目標				
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
本業における環境配慮	台	スカイアクティブ搭載車の販売比率 前年比100%以上				
エコタイヤ販売	本	前年の販売比率 100%以上				

化学物質取扱量

1. 環境負荷の現状

化学物質の種類	単位	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績
エチルベンゼン	kg	1.3	1.2	1.2
トルエン	kg	497.4	52.8	39.6
キシレン	kg	1.7	1.6	1.3
1,3,5-トリメチルベンゼン	kg	13.8	4.6	7.0
バナジウム化合物	kg	0.0	2.1	2.4
クロム及び三価クロム化合物	kg	0.0	2.7	1.8
ナフタレン	kg	3.3	1.6	1.8
4-メチル-2-ペンタノン	kg	0.0	1.9	0.1
シクロヘキサノン	kg	0.9	2.1	0.0
1,2,4-トリメチルベンゼン	kg	38.0	8.7	13.6
酢酸ブチル	kg	2,025.9	2,055.9	1,829.4
メタノール	kg	141.2	0.0	0.0
1-ブタノール	kg	0.0	0.0	0.0
メチルエチルケトン	kg	4.1	0.0	0.0

2. 環境目標 ※BPセンター（板金塗装工場）

化学物質の取扱い量を把握するとともに適正な取扱い及び処理をする  
また塗料の水性化を拡大する





# (株)関西マツダ 環境経営計画(1)

## 取り組み内容

※2022年度の環境経営計画の実施状況と2023年度の環境経営計画です

<b>1.環境教育・訓練を実施 EA活動の促進及び意識向上・教育 (PDCAの実践)</b>	結果:計画通り実施できた
<p>①環境に関するミーティング(エコアクション21活動ミーティング)を月1回以上開催して 拠点メンバーで取組みに関する反省や今後の取組みを話し合い、ミーティングシートに記録する</p> <p>②緊急時を想定しての緊急対応訓練(消防訓練及びオイル流失訓練)を実施する</p> <p>③推進事務局から不定期に提供される「ワンポイントレッスン」を活用して「環境教育訓練」を実施し 「環境教育訓練記録簿」に記録する。</p>	
<b>2. 二酸化炭素排出量の削減</b>	結果:下記項目を実践することで目標を上回る削減ができた
<p>1)電力使用量の削減</p> <p>①メジャーサインの点灯時間の管理</p> <p>②ショールームの消灯時間の順守</p> <p>③不要な照明の消灯</p> <p>④昼休み、退社時の工場の消灯</p> <p>⑤5/1～10/31の期間クールビズの実施</p> <p>⑥エアコンの温度設定の確認・退社時の電源OFF</p> <p>⑦エアコンフィルターの定期的な清掃</p> <p>⑧エアコンプレッサーの退社時電源OFF</p> <p>⑨退社時や長時間離席時のOA機器の電源OFF</p> <p>⑩エコアクション21実績表を基に電気使用量を把握する</p>	
<b>3. 自動車燃料の削減</b>	結果:下記計画項目を実践し無駄な燃料を削減することができた
<p>①エコドライブの啓発(エコドライブ10のすすめ)</p> <p>②タイヤの空気圧・不要な荷物チェック</p> <p>③サービスカーなどへのエコオイルの使用</p>	
<b>4. 廃棄物の削減</b>	結果:コピー用紙、一般廃棄物、産業廃棄物とも目標値の削減は達成
<p>①一般廃棄物の削減</p> <p>②コピー用紙使用量の削減</p> <p>③産業廃棄物の適正処理の徹底</p> <p>④廃油・廃バッテリーは有価物として処理する</p>	
<b>5.水使用量の削減</b>	結果:下記計画項目を実践し削減することができた
<p>①水道使用量の確認</p> <p>②節水の掲示を各蛇口周辺に貼る</p> <p>③洗車用ホースにストップノズルを取り付ける</p>	

# (株)関西マツダ 環境経営計画 (2)

## 取組内容

### 6. 紙(コピー用紙)使用量の削減

結果:下記項目を実践することで削減目標を達成できた

- ①両面コピーを促進する
- ②電子化を促進し紙ベースでの保存を減らす
- ③ペーパーレス会議の促進

### 7. 化学物質の取扱い

結果:昨年に引き続き化学物質の取り扱い量を減らすことができた

- ①化学物質の取り扱い量の把握及び削減に努める  
※塗料の水酸化に努める

### 8. 本業における環境配慮

結果:スカイアクティブ搭載車の販売比率は0.1ポイント前年を上回った

- ①スカイアクティブ搭載車両の拡販
- ②エコタイヤ(低燃費タイヤ)の拡販

### 9. ライトダウンキャンペーン2022(2022年7月7日及び2023年3月25日)への参加

結果:参加し実践した

- 七夕の7月7日に20:00以降は屋外照明を消灯
- 3月25日に20:00以降は屋外照明を消灯

### 10. フロン排出抑制法の対応

結果:実施できた

- ①7.5kW未満の業務用エアコンの簡易点検の実施(3ヶ月/1回)

※2023年度以降も引き続き上記のエコアクション活動を実践し活動していく

# (株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (1)

## 1. 環境負荷数値の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度			
		実績	実績	実績	目標値	実績	削減率	
二酸化炭素排出量 ※1 ※2	kg-CO2	3,437,548	3,255,051	3,224,096	3,334,422	3,255,440	2.4%	
電力使用量	kWh	4,907,320	4,573,476	4,651,761	4,760,100	4,722,323	0.8%	
化石燃料使用量	ガソリン・軽油合計	L	264,373	269,991	238,038	256,442	242,640	5.4%
	ガソリン使用量	L	191,257	213,195	189,154	185,519	181,712	2.1%
	軽油使用量	L	73,116	56,796	48,884	70,923	60,928	14.1%
	都市ガス・LPG合計	m <sup>3</sup>	62,382	56,281	57,501	60,511	55,300	8.6%
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	62,188	56,183	57,406	60,322	55,209	8.5%
	LPG使用量	m <sup>3</sup>	194	98	95	188	91	52%
灯油使用量	L	108	59	161	105	155	増加	
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	102,569	91,910	97,021	99,492	95,545	4.0%
	産業廃棄物排出量	kg	565,123	526,205	484,988	548,169	466,399	14.9%
	水使用量	m <sup>3</sup>	36,242	33,709	32,751	35,155	32,162	8.5%
	コピー用紙使用量	kg	39,104	40,457	35,137	37,931	36,356	4.2%

※1 排出係数はオリックス…0.550 関西電力…0.509 エネアーク関西… 0.489

(全て単位は、kg-CO2/kWh)を使用した。

排出係数は各社の2015年度実績、2016年12月27日公表数値)

※削減率…目標値に対する削減率

## 2. 環境商品(スカイアクティブ搭載車両)の販売実績

2022年度新車売上台数(直売) 6,057 台  
 内)スカイアクティブ搭載車両(直売) 4,954 台  
 スカイ搭載車両販売比率(直売) 81.8 %

※前年の販売比率 81.7%に対して0.1ポイント上回ることができた



## 3. 環境商品(エコタイヤ / 低燃費タイヤ)の販売実績 (2022年4月～2023年3月)

※下記の4メーカー約30種類のエコタイヤ(低燃費タイヤ)を販売した

**タイヤ販売数 17,943本中、エコタイヤ販売 12,662本 販売比率 70.6%**

参考)2021年度実績 タイヤ販売数 17,148本中、エコタイヤ販売 12,236本 販売比率 71.4%

〈ブリヂストン〉エコタイヤ	〈ダンロップ〉エコタイヤ	〈トーヨー〉エコタイヤ	〈ヨコハマ〉エコタイヤ
ECOPIA NH200	エナセーブEC204	NANOENERGY3 PLUS	BluEarth-Es
ECOPIA NH200C	エナセーブ RV505	TRANPATH mpZ	BluEarth AE01F
Playz PX II	VEURO VE304	TRANPATH mp7	BluEarth AE01
Playz PX-RV II	LEMANS LM704	TRANPATH LuK	BluEarth GT
REGNO GR-X II	LEMANS LM V	TRANPATH ML	BluEarth XT
REGNO GRV II	LEMANS LM V+	PROXES Comfort II s	BluEarth-RV RV03
ALENZA LX100	その他	PROXES CF2	BluEarth-RV RV03CK
NEWNO		PROXES CL1 SUV	ADVAN dB V552
その他		その他	その他
合計 3,176	合計 3,836	合計 4,248	合計 1,402

## (株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (2)

### 4. 環境活動計画の取組結果とその評価

#### ①二酸化炭素排出量

削減率		
目標に対して	2.4%	削減

#### ②電力使用量

削減率		
目標に対して	0.8%	削減

#### 【要因】

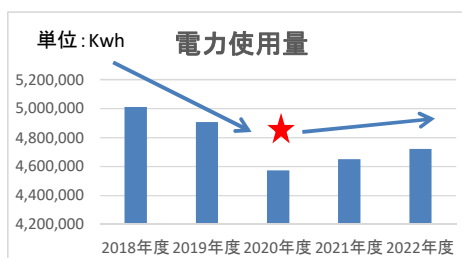
二酸化炭素排出量は昨年度の4.3%削減実績に引き続き、今年度2.4%も削減できたのは評価できる。  
千里店やその他各店舗のLED照明化への継続が効果を上げていると考える  
無駄な残業の抑制や、空室や昼休みの消灯など地道なエコアクション活動の成果である

#### 【2023年度】

大阪北東部の基幹店舗である寝屋川店の全面建替えを行い省エネ機器の導入を積極的に行うとともに  
鳳店、富田林店、東淀川店、岸和田店にて大改修工事にてLED照明化を計画している

#### 〈過去5年の電力使用量の推移〉

年度	電力使用量
2022年	4,722,323kWh
2021年	4,651,761kWh
2020年	4,573,476kWh
2019年	4,907,320kWh
2018年	5,011,479kWh



※コロナ元年(2020年★印)を機に、電力使用量の削減量が頭打ちとなり、毎年微増に転じている

#### ③化石燃料使用量の削減

##### A ガソリン使用量

削減率		
目標に対して	2.1%	削減

##### B 軽油使用量

削減率		
目標に対して	14.1%	削減

##### C 都市ガス使用量

削減率		
目標に対して	8.5%	削減

##### D LPG使用量

削減率		
目標に対して	52.0%	削減

##### E 灯油使用量

削減率		
目標に対して	-47.6%	増加

#### 【化石燃料の使用量について】

灯油使用量は2019年度の実績値や目標値に対しても増加となっているが、絶対量としては会社全体で非常に少ない使用量なので大きな問題とは考えていない。  
その他の化石燃料の使用量は、目標に対して削減できている。

## (株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (3)

### ④水使用量

削減率		
目標に対して	8.5%	削減

#### 【要因】

エコアクション活動の浸透により、水量メーターの増加に敏感に反応し早期の水漏れを発見した事例も含め節水意識が高くなってきていることが評価できる

### ⑤産業廃棄物の排出量の削減

削減率		
目標に対して	14.9%	削減

#### 【有価物としての処理数】

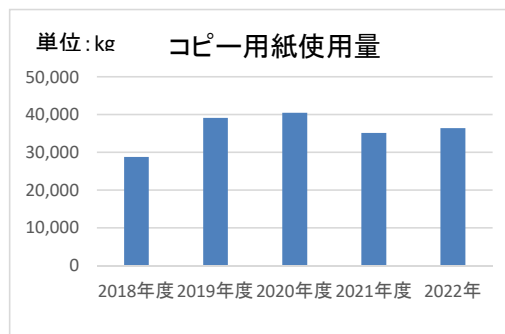
〈2022年度〉	廃バッテリー	121,968kg	廃油	428,391kg
〈2021年度〉	廃バッテリー	125,469kg	廃油	440,790kg
〈2020年度〉	廃バッテリー	140,025kg	廃油	484,717kg
〈2019年度〉	廃バッテリー	136,754kg	廃油	493,844kg

### ⑥コピー用紙使用量の削減

#### 〈過去5年のコピー用紙使用量の推移〉

削減率		
目標に対して	4.2%	削減

2022年度	36,356kg
2021年度	35,137kg
2020年度	40,457kg
2019年度	39,104kg
2018年度	28,750kg



※コピー用紙の使用量は、2019年度よりサービス売上伝票が複写式伝票からコピー用紙に変更となった為増加していたが、WEB会議の促進や紙資料の削減努力により2021年度は削減できた。

2022年度は微増に転じたものの目標値への削減は達成している

### ⑦化学物質について

シンナー再生機を更新したことによって、トルエンの取り扱い量を昨年度に引き続き減らすことができた。塗料の水溶性についても引き続き拡大していく。

### ⑧ ライトダウンキャンペーン2022(2022年7月7日及び2023年3月25日)への参加

2022年七夕の7月7日に20:00以降は屋外照明の消灯をした

2023年3月25日、20:00以降は屋外照明の消灯をした

関西マツダ最大規模の「千里店」 グランドオープン (2022年7月)



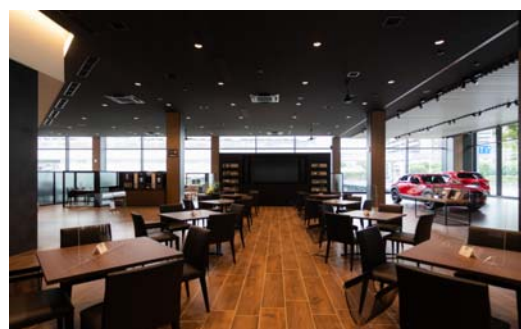
最新のLED照明導入による高級感あるエントランスと明るく清潔なサービス工場



電気自動車に必要な充電器を3基設置



座席数115の広々としたショールーム



ショールーム内展示車両 5台



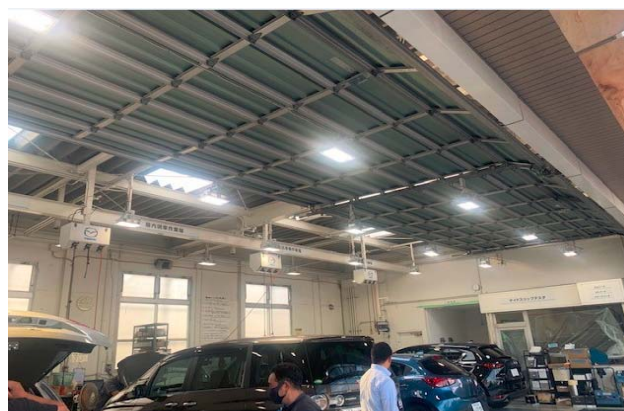
テープカットセレモニー



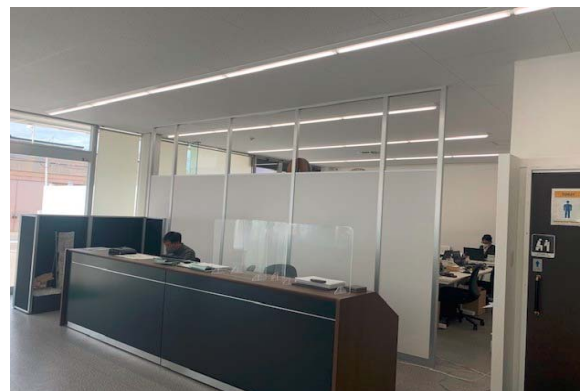
【高槻北店ショールーム及びサービス工場】 省エネ機器の導入… LED照明



【箕面中央店サービス工場】 省エネ機器の導入… LED照明



【吹田店ショールーム及び事務所】 省エネ機器の導入… LED照明



【41拠点に電気自動車用充電器の設置完了】

(摂津、守口BP、狭山UCL、寝屋川店除く)



# (株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (6)

## 5. 太陽光パネルの発電状況

太陽光パネルの発電により2022年度は合計53,578kg-CO<sub>2</sub>の  
 二酸化炭素排出量を削減した※  
 樹齢80年の杉の木3,827本が1年間で吸収する二酸化炭素量に相当

※排出係数=0.514kg-Co<sub>2</sub>で計算

※杉の木1本が1年間でCO<sub>2</sub>を取り込む量約14kgで計算

泉佐野店太陽光パネル…2013年7月設置

2022年度	期間	発電量
4月	3月18日 ~ 4月19日	2,887 kWh
5月	4月20日 ~ 5月22日	2,755 kWh
6月	5月23日 ~ 6月19日	2,794 kWh
7月	6月20日 ~ 7月20日	2,869 kWh
8月	7月21日 ~ 8月21日	3,159 kWh
9月	8月22日 ~ 9月20日	2,368 kWh
10月	9月21日 ~ 10月20日	1,895 kWh
11月	10月21日 ~ 11月20日	1,858 kWh
12月	11月21日 ~ 12月19日	1,060 kWh
1月	12月20日 ~ 1月22日	1,376 kWh
2月	1月23日 ~ 2月19日	1,202 kWh
3月	2月20日 ~ 3月17日	2,073 kWh
	合計	26,296 kWh



PHOTO: 泉佐野店

東大阪店太陽光パネル…2013年12月設置

2022年度	期間	発電量
4月	4月13日 ~ 5月15日	3,955 kWh
5月	5月16日 ~ 6月12日	3,851 kWh
6月	6月13日 ~ 7月12日	3,620 kWh
7月	7月13日 ~ 8月11日	3,863 kWh
8月	8月12日 ~ 9月12日	3,404 kWh
9月	9月13日 ~ 10月13日	2,989 kWh
10月	10月14日 ~ 11月13日	3,452 kWh
11月	11月14日 ~ 12月12日	2,210 kWh
12月	12月13日 ~ 1月15日	2,621 kWh
1月	1月16日 ~ 2月12日	2,231 kWh
2月	2月13日 ~ 3月12日	3,084 kWh
3月	3月13日 ~ 4月12日	3,616 kWh
	合計	38,896 kWh



PHOTO: 東大阪店

枚方店太陽光パネル…2014年7月設置

2022年度	期間	発電量
4月	3月4日 ~ 4月5日	4,922 kWh
5月	4月6日 ~ 5月8日	6,223 kWh
6月	5月9日 ~ 6月5日	4,935 kWh
7月	6月6日 ~ 7月5日	5,208 kWh
8月	7月6日 ~ 8月3日	4,997 kWh
9月	8月4日 ~ 9月5日	4,432 kWh
10月	9月6日 ~ 10月5日	3,138 kWh
11月	10月6日 ~ 11月6日	1,933 kWh
12月	11月7日 ~ 12月5日	1,002 kWh
1月	12月6日 ~ 1月9日	717 kWh
2月	1月10日 ~ 2月5日	605 kWh
3月	2月6日 ~ 3月5日	934 kWh
	合計	39,046 kWh



PHOTO: 枚方店

※2022年度の3設備合計の発電量は104,238kwh



## 6. フロン排出抑制法の対応

### ①7.5kw未満の業務用エアコンの簡易点検の実施(3ヶ月/1回)

【2022年度実施状況】



- 2022年4月実施済み
- 2022年7月実施済み
- 2022年10月実施済み
- 2023年1月実施済み



### ②7.5kw以上の50kw未満の業務用エアコンは業者による定期点検の実施(3年/1回)

機種	圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
エアコン・空調機器	7.5kw以上50kw未満	3年に1回
	50kw以上	1年に1回

#### 定期点検

定期点検は一定規模以上の大型の業務用冷凍空調機器が対象です



- 2016年10月実施済み
- 2020年2月実施済み

※次回、2023年7月に実施予定



## 9. その他の取り組み



### 共創チャレンジ

「共創チャレンジ」とは、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実践するため自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチーム活動のこと

#### 取組① 《社会的インフラを支える自動車販売、整備業に夢を与える》

##### ●取組の展開

自動車業界を盛り上げていくために、自動車に関わる仕事に誇りが持てるよう、メーカーを問わず情報交換ができる環境を作ります。

情報交換をしていく中で、他団体様と共に若者へ自動車の楽しさ、重要性を広められるようなイベントを開催します （経営戦略室 採用チーム）



#### 取組② 《折り鶴で世界をつなごう！プロジェクト》 ～一人ひとりのいのちの輝きとともに～

##### ●取組の展開

私たちは、一人ひとりのいのち輝く未来社会の実現を目指して、TEAM EXPO 2025のメンバーや多様な団体、そして様々な状況で生きる人々が折り鶴を通して共に楽しみ、ゆるやかにつながることで全国にそして世界に笑顔の輪を広げる活動に取り組みます。（法人営業部）

## ㈱関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (10)

### 取組③ ≪EV車の普及による地球温暖化防止≫

#### ●取組の展開

枚方市地球温暖化対策協議会の皆様とともに、環境取り組みのパネル展示や環境イベントに出店しました。EV車イベントを開催し多くのお客様に給電や充電、試乗を体感していただきました（枚方店）



### 取組④ ≪献血を通じ医療への貢献≫

#### ●取組の展開

日本赤十字社の献血バスを定期的に店舗に誘致を行い献血に協力をを行う。献血の必要性、重要性を社員、ご来店のお客様だけではなく近隣企業様にもお伝えし理解を広める活動を行う。

さらには、地域の方々にも活動を知っていただくことでより多くの方々に献血を身近に感じて頂く。また、血液検査を通じて社員が健康に注意を払うことで医療費削減にも貢献しました（豊中店）



### 取組⑤ ≪交通事故のない未来社会の実現≫

#### ●取組の展開

守口店にて安全運転者講習を定期的に開催し運転者には交通事故を起こさない'思いやり運転'を子供達にはシートベルトの着用をはじめとした交通ルールを順守することへの重要性を学んでいただく。この活動を継続して行うことで、交通事故のない未来社会を実現し高齢者や子供たちが安心して暮らせる街作りを目指します（守口店）



# 株関西マツダ 環境関連法規等のとりまとめ

## 1.環境関連法規

環境関連法規	要求事項	確認
下水道法	特定施設設置届出	○
水質汚濁防止法	特定施設設置届出	○
浄化槽法	設置届出と定期検査	○
騒音規制法	特定施設設置届出	○
振動規制法	特定施設設置届出	○
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物の適正処理	○
自動車リサイクル法 (使用済自動車の再資源化等に関する法律)	使用済自動車の適正処理	○
消防法	少量危険物の届出、設備の設置	○
温対法 (地球温暖化対策の推進に関する法律)	温室効果ガスの排出量の算定、府への報告	○
PRTR法 (特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)	特定化学物質の排出量/移動量の把握	○
大阪府化学物質管理制度	特定化学物質の排出量/移動量の把握	○
大阪府生活環境の保全等に関する条例	環境保全に関する届出等	○
大阪府温暖化の防止等に関する条例	対策計画書、実績報告書の府への届出	○
労働安全衛生法	作業安全の確保 定期健診(特殊健康診断) 化学物質のリスクアセスメントの実施	○
PCB特別措置法	適切な保管と届出	○
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例	廃棄物の減量推進と適正な処理	○
フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検の実施と記録の保管	○
改正健康増進法	原則禁煙 喫煙表記 換気設備	○

主な環境関連法規等の遵守確認を行ったが、いずれも遵守されており特筆すべき事項はなかった

詳細は、店舗ごとに別表でまとめている

## 2.違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けていない

また、同時に訴訟の発生もなかった

## ㈱関西マツダ 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・灯油使用量以外、目標数値に対してすべての環境負荷数値を削減できたのは大いに評価できる  
長年に渡るエコアクション21の地道な活動が浸透してきた成果と考える
- ・2022年度は、関西マツダ最大拠点の千里店の全面建替えの完成に伴い省エネ機器を導入・稼働させ  
電力使用量の削減に貢献しているだけでなく多くのお客様に来店いただき「マツダブランド」の浸透・PRIに  
大きく貢献することができている
- ・2022年度より「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創チャレンジに参画している  
この取り組みをホームページに掲載し広く社会にアピールしている
- ・2023年度は大阪北東部の基幹店舗である寝屋川店の全面建て替えを完成させ省エネ設備の導入を加速させる  
さらに、富田林店、鳳店、東淀川店、岸和田店の大改修計画を実現させ、お客様に居心地の良いショールームを  
提供し且つすべての照明器具のLED化を実現する
- ・関西マツダに関わるすべての人を「笑顔」にし、地域社会に貢献し愛される企業を目指す

2023年5月20日

株式会社関西マツダ 代表取締役社長 平 正憲